

新たな教師の学びの姿 の実現を目指して

新たな教師の学びの姿

主体的な姿勢

探究心を持ち自律的に学ぶ

継続的な学び

求められる知識技能の変化を意識した学び

個別最適な学び

一人一人の教師の個性に即した学び

協働的な学び

他者との対話や振り返りを通した学び



理論と校内における日々の実践の往還、同僚性を生かした校内での学びの重要性が改めて見直されています。



はじめに

日本の校内研修は、世界からも注目される「授業研究」を中心とした教師の学び合いなどにより授業改善が図られ、子どもたちの資質・能力の向上に大きな役割を果たしてきました。本資料は、これまでの校内研修のよさを継承しつつ、教師一人一人が探究心を持ち、主体的、継続的に、また個別最適、協働的に学ぶ「新たな教師の学びの姿」を意識した校内研修の参考となるよう、道内の学校から寄せられた工夫例や各校種における実践例、校内研修における探究的な学びの例を紹介しています。各学校における校内研修の推進に役立てられることを期待しています。

本資料の構成

道内の学校の校内研修の事例を中心に、次のような課題意識に対応した構成になっています。

P2 教師が重視している「学びの機会」と「研修環境の整備」

- 教師は、どのような「学びの機会」を重視していますか

P3 教師自らデザインする「探究的な学び」

- 校内研修における教師の探究的な学びとは、どのようなものですか

P4～7 各校種（小・中・高・特）の実践例から学ぶ

- 各校種の実践例を知りたいです P5（小）、P6（中）、P7（高）、P8（特）

P8 道内の学校における「校内研修を活性化するための工夫例」

- 校内研修の活性化には、どのような環境整備や工夫が考えられますか

P9 【資料編】全国教員研修プラットフォーム（Plant）の活用

- 全国教員研修プラットフォーム（Plant）の活用事例を知りたいです

P10 【資料編】研修主事による校内研修の活性化例

- 研修主事による校内研修の取組について知りたいです

「新たな教師の学びの姿」を意識して、校内研修を始めましょう

主体的な姿勢

変化を前向きに受け止め、探究心を持ちつつ自律的に学ぶという「主体的な姿勢」

**多様性の重視、社会の変化、研修観の転換
技術革新、正解主義・同調圧力からの脱却**



これまでの実践のよさを生かして、ICT環境を活用した、個別最適な学びと協働的な学びの充実に向けた授業改善に挑戦したいです。

継続的な学び

求められる知識技能が変わっていくことを意識した「継続的な学び」

**多様なニーズ、現代的な諸課題への対応
授業観・学習観の転換、ICT活用指導力**



昔は、研修と言えば、若手や中堅が中心と考えていました。時代の変化とともに、ベテラン層になっても新たに学ぶことが多く、学び続ける大切さを感じています。

個別最適な学び

新たな領域の専門性を身に付けるなど強みを伸ばすための、一人一人の教師の個性に即した「個別最適な学び」

**自身の学びを省察、自己評価、自己調整、
興味・関心に応じた学びのデザイン**



校内研究テーマ「コミュニケーション能力の育成」について、専門教科の「数学」で、探究していきます。

協働的な学び

他者との対話や振り返りの機会を確保した「協働的な学び」

**対話による気付き、見方・考え方の広がり
一人では解決困難な課題を協働的に探究**



先輩や後輩との対話は、多様な考えや実践を知ることができ、互いのよさを生かした学校全体の授業改善にもつながっていると感じます。

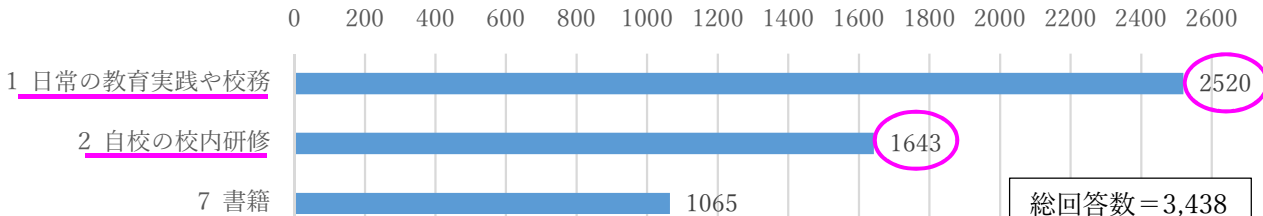
教師が重視している「学びの機会」と「研修環境の整備」

教師は、どのような「学びの機会」を重視していますか

次のアンケート結果から、日常の教育実践や校務、校内研修を重視していることが分かります。

道内の教師は、「日常の教育実践」や「校内研修」を重視しています

自身の資質能力の向上に向けて、どのような学びの機会を重視していますか。



「令和6年度（2024年度）教職員研修に関するアンケート」（北海道教育委員会）

「中央教育審議会答申（R4.12.19）」から一部抜粋

座学等を中心とする「知識伝達型」の学習コンテンツを受け身の姿勢で学ぶだけではなく、個別最適な学びとの往還も意識しながら、**他者との対話や振り返りなどの機会**を教師の学びにおいて確保するなど、協働的な教師の学びも重視される必要がある。こうした機会としては、例えば各学校において行われる**校内研修や授業研究など、「現場の経験」**を含む学びが、同僚との学び合いなどを含む場として重要である。

校内研修の活性化には、一人一人の「参画意識」と「環境整備」が大切です

校内研修（授業研究を含む）

- 学校課題の解決に向けて、探究心を持ち、主体的、継続的、個別最適、協働的に学ぶ

往還

日常の教育実践

- 校内研修の学びを日常の教育実践に活かす
- 子どもの姿から振り返り、次の探究に向かう

同僚との協働的な学び

効果的に結び付ける

教師一人一人の実践、省察

校内研修を支える環境整備

組織づくり



校長のリーダーシップ



研修主事、研修担当者による推進、役割分担

一人一人が主語になる研修を考えています。

全教職員の参画意識
主体性の発揮

時間の確保

- ・ 働き方改革の推進
- ・ 業務の平準化
- ・ 日課の調整（教務と連携）
- ・ 部活動休養日の設定
- ・ 長期休業中の実施
- ・ 日常的に相互参観、授業について対話を実施

心理的安全性の確保

- ・ 学び合う文化の醸成
- ・ 個別最適で協働的な研修の推進
- ・ 小グループでの協議や、ICT活用による意見を述べやすい形態の工夫
- ・ 共に学ぶ他者への敬意、自他を尊重する態度

お互いの意見を尊重する雰囲気があるので、話しやすいです。



道内の学校から寄せられた工夫例は、8ページをご覧ください。

教師自らデザインする「探究的な学び」

校内研修における教師の探究的な学びとは、どのようなものですか

教師の「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指して、受け身の姿勢で学ぶ研修から、主体的な姿勢で探究的に学ぶ研修に転換することが大切です。

「中央教育審議会答申（R4.12.19）」から一部抜粋

個別最適な学び、協働的な学びの充実を通じて、「主体的・対話的で深い学び」を実現することは、児童生徒の学びのみならず、教師の学びにも求められる命題である。つまり、**教師の学びの姿も、子供たちの学びの相似形**であるといえる。

教師自らが**問いを立て実践を積み重ね、振り返り、次につなげていく探究的な学び**を、研修実施者及び教師自らが**デザイン**していくことが必要になる。



相似形の学び

教師も
子どもも

自分らしく学ぶ

他者から学び、気付く

深く考える

校内研修における教師の探究的な学びの例 ～自校の学びを自らデザインする～



【多様な学びを効果的に】全てのことを探究的に学ぶことは、時間的にも不可能です。時には、ICTの操作研修や、必要な情報等を書籍や動画などから学び、同僚と対話する研修なども、資質能力の向上には有効です。



動画視聴

個人探究

実技研修

俱知安町立俱知安小学校 「学力向上に向けた『日常授業』づくり」

学校が抱えていた課題

- ① 1つの授業づくりに多くの時間をかけるものの、学力向上などの成果に結び付く実感が弱い。
- ② 個々の教師が身に付けたい研修内容となっていないため、受け身の姿勢で参加。

課題の解決に向けた取組

- ① 明日の授業に直結する「日常授業」を意識した工夫【ICT活用方法が明確な板書型指導案】
 - ・全体で集まる研修を30分程度とし、ブロック研修などの組織体制を工夫
 - ・単元計画、板書型指導案の作成など、明日の授業に直結する研修にシフトチェンジ
- ② 様々なニーズに応じた全教職員が主体的になるための工夫【FigJamを活用したミニ研修】
 - ・研修担当者や教職員のニーズに応じたミニ研修のテーマ設定
 - ・教師の「協働的な学び」の充実に向け、FigJamを活用しながら研究授業を参観

取組の実際

①-1 30分以内を目安に実施する「全体研修」

「全体研修」で確認することは要点を絞り短時間で実施し、その後は、ブロック長のリーダーシップにより、ブロックで研修を推進しています。少人数のフットワー

ブロック研修の様子



クの軽さを重視したことで、研修への参画意識が高まるとともに、日程調整等の困難さも解消しました。

②-1 ニーズに応える「ミニ研修」

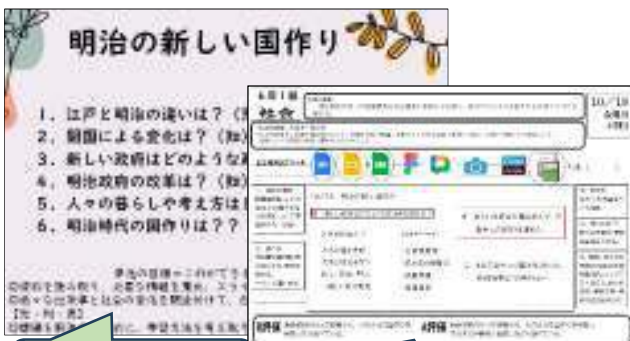
学級経営、ICT活用、授業づくり、道徳、書写、サービスなど、キャリアステージによって異なるニーズに応える「ミニ研修」を実施しています。ミドルリーダーが講師となることで、係の負担も少なく、互いに学び合う研修風土が築かれています。会話を楽しみながら主体的に学ぶことができる研修です。

ミニ研修の様子



①-2 明日に直結する「日常授業」づくり

学習指導要領に基づく授業となるように、単元の目標などを明記した単元計画を作成しています。また、目標や学習活動に合わせて、働かせる「見方・考え方」やICTのどの機能を活用するのかを明確にした「板書型指導案」を立案しています。研修内容が明日の授業に直結する「日常授業」づくりを大切にしています。



単元の目標（ゴールイメージ）を児童と共有する単元計画

ICTの意図的・効果的な活用を位置付けた「板書型指導案」

②-2 児童も教師も「協働的な学び」

研究授業を参観する際は、FigJamを活用し、気付いたことを付箋にコメントしています。教師が互いのコメントから学ぶ取組は、児童がFigJamを活用して学ぶ姿と同じであり、教師がICT活用のよさを体験し、自身の授業改善に活かしています。



参観しながら気づきを FigJam へ



児童の学習状況に係る写真や動画、コメントを記入した付箋を貼り付け、多様な気づきを共有することで、教師が授業を参観・分析する力を育成

旭川市立緑が丘中学校 「交流月間やチャットで学び合う」

学校が抱えていた課題

- ① 他の学級（教師）の日常の授業を参観する機会が少ない。
- ② 校内研修での学びが、継続的な学びや日常の実践につながっていない。

課題の解決に向けた取組

- ① 互いの日常実践から学ぶ機会を重視
 - ・「交流月間（自由に相互参観）」や「1人1授業実践」の期間を設定、チャットで意見交流
- ② 継続的な学びを促すクラウド上で共有する「振り返りシート」の活用
 - ・自身の学びや同僚との学びを振り返り、学びの成果を省察、可視化、蓄積

取組の実際

①-1 「交流月間」等で互いに学び合う

「交流月間」は、全ての学級の授業を自由に参観することで、他の教師の端末の活用方法や生徒の「個別最適な学び」と「協働的な学び」を支える指導などについて、学び合うことができ、「聞きたいけど時間がない」、「今更こんなこと聞けない」など、個々の困り感の解消にもつながっています。

「1人1授業実践」の取組は、学校の課題について、解決の方策を提案できる教師から授業を始め、全員が実施しました。日常的な学び合いを意識することにより、チャットを含む教職員間の会話が増えて、同僚性も高まりました。



相互参観で教師も見通しをもつ

- ←生徒が主体となる授業（理科）
 - ①見通しをもつ（クラウド）
 - ②教科書で情報収集
 - ③実験
 - ④他者参照（チャット）
- 「個別最適な学びのよさを理解…」

参観者の
気付き

①-2 理論研修は既存の動画等を有効活用

日常の実践から学ぶことに加えて、理論研修も実施しています。研修担当が、Plant等から動画を選定して紹介することで、各自、都合のよい時間に自身の関心や必要性に応じて視聴することができ、気付きはチャットで共有しています。

研修前に全員が同じ動画を見て、その内容を全体研修で協議することもあり、研修担当の負担が軽減するとともに、研修担当から学ぶという受動的な姿勢が改善される効果もありました。

教職員チャットの事例

夏季休業中におすすめの研修動画紹介

- ①「個別最適な…」 <https://www.〇〇△△>
 - ②「情報活用能力…」 <https://www.〇〇△△>
- ※②は、8月の研修で意見交換します。

研

山

田

①の動画、4分30秒頃からおすすめてです。

確かに。生徒が学習計画を作成する場面…

② 校内研修における「振り返りシート」

「振り返りシート」は、校内研修の学びを各自が振り返り、記録するスプレッドシートです。これまでは、研修日や授業研究ごとにアンケートや感想などを記入していたため、学びが継続しづらいという課題がありました。

クラウド上で共有する「振り返りシート」にしたことで、自身の一年間の学びを俯瞰することや他の教師の気付きや考えを参照することができるようになり、次の実践につながる継続的な学びや他者から豊かな気付きを得る深い学びが実現しています。

【「振り返りシート」の実際】

| | | 第1回 | | 第2回 |
|---------|--------------------------|-----|---|----------|
| | | テーマ | 振り返り | テーマ |
| A 先生 | 自身の研究 | | 課題解決における協働的な学びを育むための端末活用の有効な手立て | 交流で… |
| | 今回の研修で理解を深めたこと、今後の実践に向けて | | 自身の授業の概念を定めていく必要性を感じた。協働的な学び、個別最適な学びがどの単元のどの時間に有効であるかを考えながら、資質・能力の育成を図っていきたい。 | 理解を深めたこと |
| B 先生 | 自身の研究 | | 探究の過程で生徒が主体的に学ぶために有効な端末活用の在り方 | 交流で… |

研修・振り返り 実践

その他の取組

○中学校区の小中合同研修を実施

ICT活用に係る情報交換を行い、児童生徒の学びやすさにつながる小中共通のアプリ活用について研修しました。

○市内の学校がチャットグループで情報共有

市教委が主導し、チャットグループを作成。日常の実践を投稿し、授業改善に活用しています。

北海道上磯高等学校 「同僚の強みを知り、日常的な学び合いにつなげる」

学校が抱えていた課題

- ① 教師一人一人の専門性を生かして学び合う機会が少ない。
- ② 多様な生徒に対応した授業改善の推進が必要。

課題の解決に向けた取組

- ① ニーズに応じた研修テーマの設定と教職員の分担と連携による主体的な研修運営
 - ・教職員が学びたいことを一人一人の専門性を生かした運営体制で推進
- ② 多様な生徒に対応する ICT を活用した授業改善
 - ・生徒の多様な学習状況を見取り、ICT を活用しながら「個別最適な学び」と「協働動的な学び」を一体的に充実
 - ・ICT 活用が得意な教師から実践し、内容を共有することで、教職員間で実践のイメージを共有

取組の実際

①-1 研修テーマの設定と校内研修計画

教職員が主体的に学びを深めることができるよう、ニーズに応じた研修テーマを設定しています。

- ①分掌の部ごとに、学びたいテーマを検討
- ②教務部が集約し、テーマと年間計画を作成
- ③各回の研修は、テーマに応じて様々な教師が講師を務めたり、外部講師を招聘したりして推進

【校内研修テーマの例】

- 年間を通して取り組むテーマ
 - ・ICT を活用した授業改善
- ニーズに応じて取り組むテーマ
 - ・防災 ・ピア・サポート
 - ・特別支援教育 ・不祥事防止

①-2 同僚の専門性から学び合う

特定の担当者に業務が偏らないよう学校運営を進めており、校内研修では、テーマに応じて教職員が講師を担当するため、改めて同僚の専門性の高さに気付くことができます。

研修後も講師を務めた教師に、研修内容について相談する同僚の姿が見られるなど、日常的に互いのよさを生かして学び合う雰囲気が生まれ、同僚性が育まれています。

【実際の研修】

理科の A 先生が担当した防災研修では、専門性を生かし、映像教材を利用した事例検討を行いました。参加者からは災害を自分事として考えるきっかけになったと好評でした。

②-1 生徒一人一人に応じたICTの効果的な活用

生徒の多様な学習状況に応じて「個別最適な学び」を検討したり、「協働的な学び」を充実させたりするために、ICTの効果的な活用を力を入れています。

研修では、授業での活用イメージをもつことができるよう、教師も端末を活用しています。

【ICT活用に向けた研修例】

- ①「個別最適な学び」を目指した実践の共有
「グラフが書けなくて関数がわからない」、「楽譜が読めなくて演奏できない」といったつまづきを、ICTの活用により克服している授業実践を共有し、協議。
- ②「協働的な学び」を目指した実践の共有
グループでの議論や制作の際に、ICT の活用により協働性を促し、深い学びにつなげている授業実践を共有し、協議。

②-2 授業改善に向けた研修～ICTの効果的な活用

研修では、全員が1人1台端末を活用し、生徒の視点に立った活用方法を検討します。

研修内容は、実際の授業で実践、検証し、生徒の状況に合わせて改善していきます。



その他の取組

- 校内研修の学びを Plant に登録
校内研修での学びを自身の研修履歴として確認できるように、校内研修を Plant に登録しています。

北海道帯広聾学校「経験年数や経歴を生かした対話を重視する」

学校が抱えていた課題

- ① 全校研修会で、経験年数の少ない教師の発言が少なく、学校全体の学びにつながっていない。
- ② 他障がい種の専門性を学ぶ研修や教職員のニーズに応じた内容が少ない。

課題の解決に向けた取組

- ① 多様なキャリアステージ、経歴をもつ教師間で学び合う場面を設定
 - ・意図的に経験年数や経歴の異なる教師で小グループを構成し、対話から豊かな気づきを得る
- ② 全校研修会、全校授業研究、放課後ミニ研修など多彩な研修を設定
 - ・学校全体で取り組むテーマとニーズに応じた専門性向上のためのテーマをバランスよく設定

取組の実際

① 全校研修会は一問一答形式から討議形式へ

年間3本(乳幼児相談室・幼稚部、小学部、中学部)の全校授業研究を実施しています。これまでの授業後の研修会は、参加者と授業者との「一問一答形式」でしたが、教職員全員が主体的に研修に参加することができるよう、5～6人のグループを編成し、討議の柱に沿って、グループ内で検討する「討議形式」に変更しました。

グループ編成に当たっては、教職や聾学校での経験年数に関係なく学び合うことができるよう、各所属学部(乳幼児相談室、幼稚部、小学部、中学部)の教師をバランスよく配置しています。



グループ編成の工夫により、自身の指導実践を話したり、それに対する質問をしたりするなど、教師一人一人が積極的に発言する様子が見られ、討議内容の深まりにつながっています。

若

△△部ではこんな指導をしています。○○学部はどうですか。

ベ

△△学部の指導が○○学部では、こういった指導につながっているよ。今後は、ICTを活用して、□□の力の向上が期待できるね。

経験豊かな教師からは授業場面における具体的な指導法、若手教師からは新しい指導の観点など、様々な視点からの対話が生まれ、互いに新たな気づきを得ることができています。

②-1 放課後ミニ研修で様々なテーマに対応

様々な実態の子どもたちが増える中で、他障がい種における専門性の向上が求められるようになりました。そこで、教師一人一人が講師となり、自身もつ専門性を最大限に生かせるようなテーマを設定し、放課後の15分間でミニ研修を実施しています。聾学校で必要な指導法に加え、発達検査や教師としての資質の向上に必要なことなど、これまでに扱ってこなかった内容が多く含まれ、新たな学びの時間になっています。

【ミニ研修の実際】

- ・人間力向上について
- ・給食室の一日について
- ・重度アセスメントについて
- ・聾学校における国語科の指導について 他

管理職、養護教諭、栄養教諭も講師となりました。

②-2 校内研修のテーマはニーズの把握から

全校研修会では、「授業の作り方」をテーマに取り組みました。これは、ある若手教師の一言がきっかけとなりました。

校内研修を変えた若手教師の言葉

私は幼稚部だから、教科指導について分かりません。「もしかすると、全校授業研で見当違いな発言をするかも…」と不安です。



よし、全校授業研に向けて、各学部における「授業づくり」についての研修を実施しよう。

研修会では、教師一人一人が自身の授業を振り返るとともに、他学部の授業づくりのポイントを知る機会となりました。教師の「知りたい」「学びたい」という思いから実施した研修は、校内全体の学びにつながりました。

道内の学校における「校内研修を活性化するための工夫例」

校内研修の活性化には、どのような環境整備や工夫が考えられますか

「令和6年度教職員研修に関するアンケート」では、道内各地の学校から **1,465 件の校内研修の工夫例** が寄せられました。各学校の参考となるよう、回答が多かった工夫例をキーワード毎に紹介します。

キーワード



多くの学校で、主体的な取組が行われています

ほか多数

時間の確保

- 日課を調整したり、部活動を休養日にしたりして参加しやすくしている。
- 分掌や学年業務の分担、効率化により、研修時間を確保している。
- 資料や授業動画などをクラウドで共有、全体研修は短時間で行っている。
- 研修日以外の日常的な相互授業参観や課題解決に係る対話を重視している。

石狩：高
留萌：中
上川：小
十勝：中

日課調整

ICT活用

日常実践

テーマの設定

- 管理職と研修担当者の課題意識、教職員のニーズを基にテーマを決めている。
- 学校評価から明らかになった学校課題を意識して、テーマを設定している。
- 学校課題や生徒の状況から、授業改善に直接役立つテーマを設定している。
- 共通テーマから個人のテーマと取り組む教科等を決定し、実践交流している。

十勝：小
胆振：中
渡島：中
空知：小

ニーズ

学校課題

授業改善

研修の進め方

- 全体研修では、アウトプット型や内省と対話型の時間を多く取り入れている。
- 理論研修、学校課題の解決、実践的指導力の向上をバランスよく行っている。
- 子どもたちの学びに生かすために、教師も個別最適・協働的な学びを意識している。
- 端末を活用したグループ協議など、全教職員が主体的に参加できるようにしている。
- 端末を活用した日常授業の相互参観、ミニ研修や授業公開を行っている。

渡島：小
上川：義
胆振：小
オホ：小
根室：小

対話

理論と実践

学びの相似形

学び合う環境づくり

- 何でも相談できる雰囲気の下で研修等ができるよう、全教職員が意識している。
- 経験年数に関係なく意見を述べるができる雰囲気づくりをしている。
- 心理的安全性を確保するため、日頃から風通しのよい職場を目指している。

宗谷：小
日高：小
後志：高

同僚性

心理的安全性

全職員の意識

その他

- 研究テーマや専門性の向上に役立ちそうな研修を Plant で検索し紹介している。
- 町内の小・中学校と連携協働し、研修体制を確立している。
- 管理職と研究部とが必要な研修等について積極的に意思疎通を図っている。
- 既存の研修動画等を活用し、研修担当者の準備の時間や負担を軽減している。

上川：特
後志：小
釧路：特
檜山：中

Plant

小中連携

既存資料の活用



多くの学校で参考にできる取組がたくさんありました。御回答ありがとうございます。

教師の学びを支える「全国教員研修プラットフォーム (Plant)」


<https://plant.nits.go.jp/>


1 「全国教員研修プラットフォーム (Plant)」とは

「全国教員研修プラットフォーム (Plant)」(以下、「Plant」)は、研修講座や研修動画などを検索し、研修の申込み、受講に係る資料等の受領、アンケートの回答、受講履歴の記録などが一括でできるプラットフォームです。

Plant を効果的に活用することで、校内研修を効率的に実施するとともに、学校課題に応じた研修を充実させることができます。

2 校内研修で Plant を活用する 3つのよさ！

① 研修の時間を確保し、効率的に研修！

各自が Plant 上の動画等を視聴することで、全体研修での協議が充実

② ニーズに応じた研修を検索！

教科指導や生徒指導など、学校課題に応じた大学等の研修コンテンツが受講可能

③ 研修履歴の記録が自動化！

Plant に登録されている研修を受講・修了すると受講履歴が自動で記録

3 校内研修におけるパッケージ例

「研修テーマ設定」→「Plant 利用」→「協議」→「実践」を繰り返すことで、より深い学びにつなげ、実践的指導力の向上を図ります。

【学校課題に関する研修の場合】

本校は、ICT 活用指導力に課題が見られるので、次の校内研修テーマは「ICT を活用した授業改善」にします

テーマ設定

- ・研修部で学校全体のテーマを検討・設定
- ・これまでの実践の成果と課題を分析

今回の視聴動画は、A大学が登録している「授業での ICT 活用」と指定されているので隙間時間にオンライン受講しよう！

Plant 利用

- ・Plant を活用してテーマに合う研修を受講
- ・「代表者のみ」や「全員」など学校の実情に応じて受講者を選定

実践

- ・研修内容を活かした実践
- ・成果や課題を意識した実践

事前のオンライン受講のおかげで、校内研修の全体時間は短くなったのに協議時間は十分に確保できて、意見交流も活発化したね

協議

- ・視聴した動画を基に学校課題の解決に向けた協議
- ・協議を通じた相互省察

研修主事による校内研修の活性化例

1 研修主事とは

令和4年の学校教育法施行規則の一部改正により、研修主事の職務が定められました。研修主事は、研修計画の立案や研修に関する事項について連絡調整及び指導、助言に当たります。

道立学校

「校長が必要と認める場合」に命課

市町村立学校

市町村立学校管理規則の改正が必要

2 研修主事を配置する3つのよさ！

1 研修全般に関する窓口の明確化！

校外研修の案内や校内研修の推進などの窓口となり、教職員も相談しやすくなります。

2 協働的な学びの架け橋に！

全日制と定時制や他校との合同研修など、協働的な学びのパイプ役となります。

3 研修環境を整備！

Plant内の動画視聴後に短時間の全体研修で協議を行うなど、研修環境の整備役になります。

3 研修主事による取組事例とその成果

【事例1】研修主事発信のミニ研修の充実

- 研修主事が、学校課題に関する情報をPlant等から収集し、ミニ研修を企画しました。
- ①事前視聴動画（それぞれ都合のよい時間）
- ②全体研修（動画の内容に関するグループ協議）※30分以内
- ③グループ協議の内容は、チャットで共有
- 短時間で、参加しやすいと好評です。

【事例2】合同研修で参加者が増加

- 研修主事がパイプ役となり、合同研修を実施しました。
- ①高校の全日制と定時制の合同研修
校内研修に対する意識の高まりが見られ、参加者も増えました。
- ②他校との合同研修
協議において多様な意見が交わされ、授業改善に役立てられました。

【事例3】ICTを活用した研修案内窓口

- 研修主事が、各種研修案内やPlant内の研修情報を集約し、自校の課題や教職員のニーズに応じて、チャット等で情報発信しました。

【チャット例】

新着情報～「ICTを活用した授業改善研修」

●月●日 ※遠隔研修、Plantから申込

- 回覧より情報が届きやすくなりました。

【事例4】校内の研修文化の醸成

- 研修主事が各分掌で実施していた研修を、全教職員に周知し、全体研修として実施しました。
- 月●日 教務部主催研修があります。
「自己調整・自己決定する力の育成」
だれでも参加できますので、ぜひ参加を！
- 多くの教職員が講師を務めることにより、学校全体で学び合う雰囲気生まれています。

北海道立教育研究所によるサポート事業等

○ 地域研修サポート事業

1年間を通して行う校内研修に関するサポートを実施

○ 令和6年度プロジェクト研究

「初任段階教員の資質能力の向上に向けた効果的な研修プログラムの開発に関する研究」

・学校で行う初任段階教員研修（学校計画研修）のモデルの開発

詳しくは、北海道立教育研究所のWebページを参照ください。

<http://www.doken.hokkaido-c.ed.jp/>